

事務事業調書

平成26年度

事業No	663	課	総務課	係	庶務係	起案者	筒井良廣
						決裁者	加藤勉
事務事業名	中学校施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 2 快適な環境づくり			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-15-5	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	生徒が		~になる	安心して学校生活を送ることができる	
事務事業の内容	学校施設の維持管理、夜間警備、消耗品・備品の購入等を実施し快適な教育環境を整えます。体育用具点検委託、ごみ収集委託、樹木消毒剪定委託、消防用設備点検委託、浄化槽保守点検委託、電気保安業務委託、昇降機保守点検委託、空調設備ガスヒューボン点検委託、窓ガラス清掃委託、空調換気設備清掃委託、夜間警備委託、校務管理委託など。					
改善・対策の履歴	浄化槽保守点検委託などで市施設全体についてまとめて入札をする手法を導入することで、経費の削減を図れました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	200,559	236,096	227,375	206,844	235,038	
財源計	198,606	233,891	224,414	203,883	231,510	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	12	0	0	0	4,500
	一般財源	198,594	233,891	224,414	203,883	227,010
受益者負担金	0	0	150	0	4,500	
職員人件費 (従事職員数)	1,953 (0.31)	2,205 (0.35)	2,961 (0.47)	2,961 (0.47)	3,528 (0.56)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	中学校施設管理委託	見込	8.00	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	委託業務を実施した学校数(校)	活動の総事業費 (千円)	53,211	53,433	21,485	
			活動にかかるコスト (千円)	6,651.38	6,679.13	2,685.63	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	ガラス被害(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	3.00	0.00	1.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	未達成
成果2	体育用具故障件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	4.00	2.00	6.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	特にありません。
----	----------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	教職員にも施設の点検・施錠の確認・校内警備などを依頼しました。 浄化槽の保守点検委託について、市施設全体についてまとめて入札を行い経費を削減しました。
成果	体育用具の点検を教職員にもやってもらい、不具合内容を指摘してもらうことで、必要な修繕を適切に行うことができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
施設の日常点検を引き続き教職員にもやってもらい、不具合があった場合には速やかに対応できるようにします。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	快適な学校生活が送れるよう施設の維持管理に努めます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	649	課	総務課	係	施設係	起案者	石原久仁夫
						決裁者	加藤勉
事務事業名		中学校施設修繕事業			事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-15-5	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策	4-3-2-3-2	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	生徒が		~になる	安全な中学校施設で生活することができるようになる。	
事務事業の内容	雨漏り補修や破損した建具の修理など、中学校施設の修繕工事を実施します。建物の保全計画に基づいた修繕を実施します。					
改善・対策の履歴	修繕箇所や状況がより詳しく把握できるように写真を添付することにより、修繕する内容をより細かく業者に指示することができるようになりました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	17,051	19,108	28,016	22,474	37,227
財源計	14,405	15,139	26,000	20,458	35,400
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	14,405	15,139	26,000	20,458
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,646 (0.42)	3,969 (0.63)	2,016 (0.32)	2,016 (0.32)	1,827 (0.29)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	学校施設の修繕	見込	8.00	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	学校数(校)	活動の総事業費 (千円)	17,051	18,289	22,474	
			活動にかかるコスト (千円)	2,131.38	2,286.13	2,809.25	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	修繕された学校で学ぶ生徒数(人)			目標	5,772.00	5,929.00	5,951.00	5,868.00
				実績	5,775.00	5,929.00	5,951.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	修繕工事数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	74.00	76.00	71.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	破損箇所及び危険箇所の修繕を実施したことにより、生徒にとって安全で快適な学校環境を整備することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	競争入札を実施したこともあり、一つ一つの修繕費を低く抑えることができました。
成果	全中学校からの修繕要望に対し、適切な対処を行った結果、修繕された学校で安全に生活できる生徒数の目標が達成できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
修繕内容を精査し、効率的に修繕を行います。 生徒の安全を最優先に考え修繕を行っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	施設の老朽化にともない、修繕箇所の増加が予想されますので、各学校と連携し、生徒の安全確保を目的とした修繕を実施していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	652	課	総務課	係	施設係	起案者	石原久仁夫
						決裁者	加藤勉
事務事業名					中学校施設改修事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-15-5	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策	4-3-2-3-2	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H22. 6太陽光発電設備の設置、H22. 12トイレ改修、H23. 6校舎、体育館のガラス飛散防止、H23. 9教室への扇風機				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	生徒が		~になる	安全に学校生活を送ることができるようになる。	
事務事業の内容	学校要望に基づき現地調査を行い、中学校施設の改修工事を実施します。また、改修工事を実施するにあたり、設計が必要な工事については、設計業務を実施します。 H23年度から校舎トイレ改修工事を計画的に進めます。					
改善・対策の履歴	一般競争入札を実施することにより、一工事当たりの単位コストを抑えることができました。学校等との調整を綿密に行い、学校生活に極力支障をきたさないようにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	59,503	211,047	541,191	345,516	365,657	
財源計	55,975	206,511	537,600	341,925	363,200	
財源の内訳	国庫支出金	0	12,552	56,280	88,326	18,500
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	150,000	0	0
	一般財源	55,975	193,959	331,320	253,599	344,700
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	3,528 (0.56)	4,536 (0.72)	3,591 (0.57)	3,591 (0.57)	2,457 (0.39)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	改修工事	見込	11.00	11.00	13.00	13.00
			実績	19.00	16.00	17.00	
	指標名 (単位)	工事件数(件)	活動の総事業費 (千円)	59,503	211,047	345,516	
			活動にかかるコスト (千円)	3,131.74	13,190.44	20,324.47	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	改修工事実施率(実施数/計画数)(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	172.00	145.00	131.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	改修された学校で学ぶ生徒数(人)			目標	4,932.00	5,929.00	4,282.00	5,868.00
				実績	5,775.00	5,929.00	4,282.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	改修工事を行ったことにより、長期的な安全確保ができました。
----	-------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	優先度及び緊急度の高さを検討し、効率的に改修工事を行いました。 一般競争入札を実施し、工事価格の適正化に努めました。
成果	学校からの要望により、改修が必要とされる箇所を把握し、必要性の高い工事を選び、実施することができました。 必要とされる工事を実施することにより、校内の安全性を高めることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
工事の優先度及び緊急度を熟考し、より効率の高い改修工事を行います。 生徒の安全を最優先に考え営繕工事を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	施設の老朽化により改修が必要な箇所の増加が予想されますので、安全性や必要性を考慮し、効率的な改修工事が実施できるようにしていきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	650	課	総務課	係	施設係	起案者	石原久仁夫
						決裁者	加藤勉
事務事業名					中学校バリアフリー事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 2 快適な環境づくり			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	50-15-5
				総合計画以外の計画	
				関連する総合計画の施策	4-3-2-3-1
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	直営	委託先			
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了 期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	中学校に通う、特別支援の必要な生徒が		~になる	安全に学校生活を送ることができるようになる。
事務事業の内容	特別支援生徒の中学校入学及び転入、進級に伴い、施設のバリアフリー化を実施します。				
改善・対策の履歴	関係者と綿密な調整を行い、必要とされる修繕を実施することができました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,768	1,932	1,630	1,429	1,378
財源計	823	987	1,000	799	1,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	823	987	1,000	799
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	945 (0.15)	630 (0.10)	630 (0.10)	378 (0.06)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	バリアフリー修繕(工事)	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	3.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	修繕(工事)(か所)	活動の総事業費(千円)	1,768	1,743	1,430	
			活動にかかるコスト(千円)	589.33	1,743.00	1,430.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	修繕・工事実施率(実施数/計画数)(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	150.00	50.00	50.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	関係者の意見を聞き取り、施設のバリアフリー化を実施しました。
----	--------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	競争入札を実施し、単位コストの適正化に努めました。
成果	入学を希望していた生徒が、既存施設での受け入れが可能となったため、修繕等を行わなかった事例がありました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
特別支援生徒が、安全に学校生活を送れるよう最低限必要な修繕及び工事を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	特別支援生徒に限らず、バリアフリーの幅を広げて、誰もが利用しやすい施設となるよう整備していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	665	課	総務課	係	庶務係	起案者	筒井良廣
						決裁者	加藤勉
事務事業名					中学校情報化推進事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 3 情報化への対応			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	50-15-5
				総合計画以外の計画	
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	直営	委託先			
実施期間	開始	平成16年度	経過	10年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	生徒が		~になる	学習に情報機器を活用できるようになる
事務事業の内容	国のIT新改革戦略により、学校ICTの環境を整備します。また、整備した情報機器については適切に保守管理するとともに、適切な時期に計画的に更新していきます。				
改善・対策の履歴	特にありません。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	13,230	15,107	38,176	36,160	13,509
財源計	12,474	14,477	37,546	35,530	12,879
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	12,474	14,477	37,546	35,530
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	756 (0.12)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	情報機器保守管理委託等	見込	8.00	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	保守管理委託等を実施した学校数(校)	活動の総事業費(千円)	10,303	10,174	10,784	
			活動にかかるコスト(千円)	1,287.88	1,271.75	1,348.00	
活動2	活動名 (活動内容)	情報機器の増設及び更新	見込	8.00	8.00	8.00	0.00
			実績	3.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	情報機器の増設及び更新をした学校数(校)	活動の総事業費(千円)	2,927	4,933	25,376	
			活動にかかるコスト(千円)	975.67	616.63	3,172.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	情報機器の増設及び更新をした中学校数(校)		目標	8.00	8.00	8.00	0.00
			実績	3.00	8.00	8.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成
成果2			目標				
			実績				
		目標達成年度	目標成果指標値		達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	・情報機器の不具合が生じた場合には、素早く修繕等の対応ができました。
----	------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		・保守経費については、平成26年9月までの3年間の長期継続契約のため、修繕費用の増減による増減がある程度です。 ・情報機器の増設・更新について、25年度は非常勤講師・臨時教職員に対してパソコン購入、図書室・保健室のパソコン更新などを行ったため、学校あたりのコストは上昇しました。
成果		・老朽化した情報機器の更新を計画どおりに実施し、学校ICT環境の向上を図ることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
老朽化した情報機器については、適切な時期に更新を行います。また、授業でのパソコン活用事例を学校に紹介するなどして活用促進を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	引き続き、老朽化した情報機器を適切な時期に更新するとともに、整備された情報機器を有効活用できるように、学校に情報提供します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	664	課	総務課	係	庶務係	起案者	橋本恵
						決裁者	加藤勉
事務事業名	中学校魅力ある学校づくり事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 4 魅力ある学校づくり			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	50-15-5
				総合計画以外の計画	
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	有 平成18年3月市民文教常任委員会				
陳情・市民要望	無				
実施方法	全部委託	委託先	その他(各学校諸活動運営委員会)		
実施期間	開始	昭和61年度	経過	28年目	終了 期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	各中学校が		~になる	自校の方針に基づき、創造的、個性的な学校づくりを進める
事務事業の内容	各学校の伝統、地域性、独自性を活かした本事業を推進し、生徒の学習意欲の高揚や心身の発達に寄与します。				
改善・対策の履歴	平成15年度から委託金額を50万円以上、300万円以下に改正しました。 平成19年から委託金額の下限をなくしました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,817	4,193	4,819	2,003	4,819
財源計	3,376	3,374	4,000	1,184	4,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	3,376	3,374	4,000	1,184
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	441 (0.07)	819 (0.13)	819 (0.13)	819 (0.13)	819 (0.13)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	事業提案	見込	8.00	8.00	8.00	8.00
			実績	7.00	7.00	8.00	
	指標名 (単位)	提案校数(校)	活動の総事業費(千円)	3,817	4,193	2,003	
			活動にかかるコスト(千円)	545.29	599.00	250.38	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	学校づくり事業提案数(学校数)			目標	8.00	8.00	8.00	8.00
				実績	7.00	7.00	8.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>25年度事業の採択校は4校(安祥中、安城南中、明祥中、桜井中)でしたが、2校(明祥中、桜井中)については事業内容の安全性の観点から実施できませんでした。実施した学校については、生徒の体力向上や学習環境改善のための整備ができました。</p> <p>環境に関連した内容のもの(緑のカーテン)も含まれています。</p> <p>平成26年度の採択審査において、審査員の日程調整ができなかったため、2次審査においてヒアリングを実施することができませんでした。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>事業金額が少なかったため、単位コストは下がりました。</p> <p>採択した学校から業者へ発注する際にも、複数業者からの見積もりを徴し、コストの縮減に努めてもらっています。</p>
成果	<p>25年度は全校から提案があり、目標を達成できました。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>より学校の特色を活かした提案を採択するとともに、「環境首都」実現のために、環境教育に関連する提案は積極的に採択していきます。また、不採択校が翌年度に積極的に提案できるように、審査内容を学校に公表する方法を引き続き検討していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>生徒の学習意欲の高揚や心身の発達に寄与する学校からの提案を大切に、今後も継続します。</p>